

新たな葬儀ビジネス定着を図る

「福岡は葬儀業者が多く、人口的に魅力のある市場」と話すのは、遺品整理専門サービス業のキーパーズ(有)(愛知県刈谷市)の吉田太一社長。2004年に福岡支店を開設して以来、遺品整理サービス需要は増加傾向にあり、「少子高齢化による新たな葬儀ビジネスの台頭は、福岡でも例外ではない」と業界動向を説明する。同サービスは、故人の遺品を遺族に代わってリサイクル処理するもので、全国で年間1000件以上の遺品整理の実績を持つ。月2回程度来福



吉田 太一
キーパーズ(有)
社長

している吉田社長。「現在福岡支店で月15件の遺品整理を手掛けているが、将来的には月100件が目標」と抱負を語った。